

磯貝明彦後援会

河口水門の実現を

蜷川堤防耐震化工事説明会開く



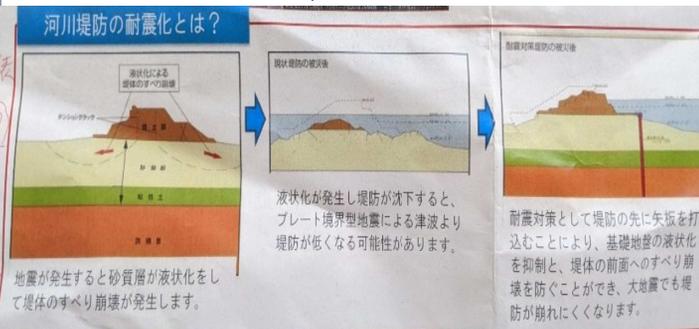
「やっぱり必要、水門は津波が来たらみんな浸水する。かと思われまます。参加した住民からは「この地域は津波が来たらみんな浸水する。」

あと約6億円で完了?

7月27日、日本共産党磯貝明彦後援会は「蜷川堤防耐震化工事説明会」を開催しました。県知立建設事務所 河川整備課遠藤課長補佐、市土木港湾課長、課長補佐が説明してくれました。

蜷川耐震工事は、2021年度1号工が石橋建設(株)で長さ300m、2号工が木村建設(株)で長さ180mの合計480mが施行中です。2022年7月までの工期です。

図のように、地震による液化化で堤防の沈下を防ぐために、矢板を水面側に打ち込む工事です。すでに前浜側は完了し、若松町側の一ツ橋前後の工事です。全体の半分が来年度以降となります。おおよその見込みでは工事費は約6億円。今までの予算ベースでは令和6年に完成かと思われまます。



矢板うちの耐震強化だけでいいのか。みんなは河口水門が必要と言っている」との質問も出されました。2016年には日本共産党磯貝明彦さんが「蜷川河口に可動水門を求めめる要望書」を住民の署名も集めて県に提出しました。県課長補佐は「水門設置が合理的であるのかどのような論議がされてきたのか調べて報告する」と約束されました。

草刈り、危険な昇降坂の崩壊も

また堤防を通行止めにして工事しているのが草が伸びている刈ってほしい。コンクリートの昇降坂が崩壊して危険などの要望も出されました。磯貝明彦さんは「地域のみなさんの意見を聞き切実さが分かりました。安全な地域のため頑張りたい」と語りました。



蜷川堤防耐震化
事業主体：愛知県
総事業費：約24.5億円
着手年度：2017年度（平成29年度）～
事業概要：伏見屋水門耐震補強、堤防耐震化 約2.3km
2020年度：水門耐震補強、堤防耐震化 約420m

【参考】和歌山市（H31.4運用）
①琴ノ浦水門（扉高9.5m、純経間30m、水門総工費国34億円）自動遠隔で開閉式

若者のコロナワクチン
接種は申請してください

12歳以上17歳まで

西尾市では高校生に接種券が送付されてきた。

蒲郡市では、中高受験生に集団接種が実施されたなどの情報が届いています。碧南市では、12歳以上17歳までの方はコールセンターに電話かオンラインで申請してください。

接種するためのクーポン券が発送されてきます。

クーポン券が届いたら、接種可能医療機関にて接種予約を行ってください。

18歳以上は接種券郵送済み市では7月20日までに18歳以上の64歳までの接種券が郵送済みとなっています。

碧南市ワクチン接種状況 (7月27日現在)

65歳以上	接種済み1回88%	2回75%	計85%
60歳～64歳	対象人数	3,967人	
50歳～59歳	"	9,793人	
18歳～49歳	"	29,428人	
全数	1回接種	22,619人	2回15,389人

碧南市新型コロナワクチンコールセンター
電話番号 0566-48-8011
(受付時間：平日と7月31日までの土曜日の9時～17時)
ファックス 0566-48-2165
(聴覚などに障害のある方 / 24時間受付)
メール kenkouka@city.hekinan.lg.jp

首都圏中心にコロナ急拡大 医療現場の逼迫 顕著に 東京 感染最多3177人



(写真) 東京五輪開会式直前、国立競技場前に密集する人々=23日、東京都新宿区

4回目の宣言
発令(今月12日)
から2週間が過
去した。23日の
東京五輪開会式
直前、国立競技
場前に密集する
人々の写真が、
感染拡大の背景
を浮き彫りにし
ている。政府は
「不要不急の外
出・移動自粛」
のメッセージを
繰り返し、緊急
事態宣言が出さ
れた1月8日の
都内の感染者は
2459人。し
ばらく高止まり
を続け、1月下
旬からようやく
下降に転じまし
た。3回目の宣
言(4月25日)
時も大型連休
明けをピーク
として減少す
るまで3週間程
度かかりまし
た。病院がひっ
迫熱中症も

全国も感染広がる

新型コロナウイルスの感染拡大がとどまることを知りません。27日の全国の新規感染者数は7629人。東京都は28日3177人の感染を確認し、これまで最多だった1月7日の2520人を大幅に上回りました。都のモニタリング会議は8月3日の感染者数(7日間平均)を約2600人と予測しましたが、それを1週間前倒しして超えるペースです。医療関係者からは「第5波がこの先どこまで広がるのか恐ろしい。濃厚接触者をめぐる五輪のルールはひどすぎる。あれでは選手の安全が守れない。こんな状況が続くなら五輪は途中で中止した方がいい」(埼玉協同病院の増田剛院長)との声があがっています。

五輪は途中で中止を

感染患者数は沖縄県354人、神奈川県758人、埼玉県593人、千葉県405人などいずれも右肩上がりに増加しました。政府が住民に呼びかける「不要不急の外出・移動自粛」のメッセージが全く届いていません。東京都に2回目の緊急事態宣言が出された1月8日の都内の感染者は2459人。しばらく高止まりを続け、1月下旬からようやく下降に転じました。3回

予想された事態

国際医療福祉大学大学院の和田耕治教授(公衆衛生学)は「大変厳しい状況。五輪の間接的影響はもちろんあるし、それ以外の人の動きも増えている」と指摘。「五輪を無観客にしたからといって問題は解決しない。感染力の強いデルタ株によって際限なく感染者が増える」と危惧します。和田氏は過去最多となった東京都の感染者数について「既に予想されていた数字。行政は市民に感染者増の可能性と予防について厳しい対策を市民に要請していたのか」とのべ、「感染拡大が重大局面だということをもっと市民に向けてもっと発信し、いまからでもしっかりと感染者を減らすべく舵(かじ)を切るべきだ」と強調しました。

毎週木曜日あさ7〜8時

名鉄へきなん中央駅前宣伝

日本共産党碧南市議員団

山口はるみ 岡本 守正

市民運動部長 磯貝 明彦

がお話しています。

ピラ配りなどに

ご協力ください。



戦争法廃止 改憲許すな19行動

8月19日(木曜日) 午前11時~12時 ヤマナカ前にて

日本共産党碧南市委員会



市議会議員 市議会議員 市民運動部長
山口はるみ 岡本守正 磯貝明彦
☎42-8940 ☎41-5357 ☎48-2718
三度山町 2-70-4 笹山町 6-29 若松町 3-253



比例東海予定候補

しまづ幸広 = 前衆院議員
もとむら伸子 = 衆院議員
長内 史子 = 32歳



日本共産党碧南市委員会議員団のホームページを新しくしました。ごらんください。

新しい日本をつくる五つの提案

- 新自由主義から転換し格差を正し暮らし家計応援第一の政治
- 憲法を守り、立憲主義・民主主義・平和主義を回復する
- 覇権主義への従属・屈服外交から抜け出し、自主・自立の平和外交に転換
- 地球規模の環境破壊を止め、自然と共生する経済社会をつくる
- ジェンダー平等社会の実現、多様性を大切に個人の尊厳を尊重する政治

市民と野党の共同で 来る総選挙での政権交代を